



服部文庫  
117  
1480

亥卯丑  
日

羅氏  
中  
考

117  
1480



和  
平  
堂  
印

永  
江  
所  
出  
之  
信  
札

浪  
人

117  
1480

山  
縣  
之  
紙

Handwritten text in cursive script, heavily obscured by insect damage. Visible characters include '和', '平', '堂', '印' and '永', '江', '所', '出', '之', '信', '札'.

ケ  
ア  
コ  
シ  
セ  
イ  
シ  
ー

之乳之者キサシ...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

石井石門

...

...

...



宗承家丁也

宗承家丁也

宗承家丁也

宗承家丁也

宗承家丁也

宗承家丁也

宗承家丁也

宗承家丁也

宗承家丁也

宗承家丁也

後<sup>PT</sup>... 一途... 能... 之...

... 物所... 之... 之...

... 如... 之... 之...

... 入... 之... 之...

... 如... 之... 之...

... 之... 之... 之...

... 之... 之... 之...

... 之... 之... 之...

... 之... 之... 之...

... 之... 之... 之...

... 之... 之... 之...





一 敬用 皇極經世一  
皇極經世

皇極經世

初九 潜龙勿用

潜龙勿用

潜龙勿用

潜龙勿用

皇极经世

皇极经世

皇极经世

皇极经世

皇极经世

皇极经世

川の舟は... 舟... 舟... 舟...  
 ... 舟... 舟... 舟... 舟...  
 ... 舟... 舟... 舟... 舟...  
 ... 舟... 舟... 舟... 舟...  
 ... 舟... 舟... 舟... 舟...

... 舟... 舟... 舟... 舟...  
 ... 舟... 舟... 舟... 舟...  
 ... 舟... 舟... 舟... 舟...  
 ... 舟... 舟... 舟... 舟...  
 ... 舟... 舟... 舟... 舟...



山城の山防能少路幸すは防確也  
其の指一繕一山一也一夫一判一得一  
其の指一夫一判一得一  
中一の一也一以一其一の一也一以一其一の一也一  
一其一の一也一以一其一の一也一以一其一の一也一  
其一の一也一以一其一の一也一以一其一の一也一  
其一の一也一以一其一の一也一以一其一の一也一  
其一の一也一以一其一の一也一以一其一の一也一  
其一の一也一以一其一の一也一以一其一の一也一  
其一の一也一以一其一の一也一以一其一の一也一

二三上持持之方とて道方ト以て其の道  
其遠持持之方とて其の道方ト以て其の道  
其の道方ト以て其の道方ト以て其の道  
其の道方ト以て其の道方ト以て其の道  
其の道方ト以て其の道方ト以て其の道  
其の道方ト以て其の道方ト以て其の道  
其の道方ト以て其の道方ト以て其の道  
其の道方ト以て其の道方ト以て其の道  
其の道方ト以て其の道方ト以て其の道  
其の道方ト以て其の道方ト以て其の道

御田  
其の道方ト以て其の道方ト以て其の道  
其の道方ト以て其の道方ト以て其の道





物紀 若白代

右の文は... (Vertical calligraphy on the right page, starting with '右の文は...')

器列之... (Vertical text in the center-right area)

川舟... (Vertical text in the center-left area)

行... (Vertical text in the center-bottom area)

左の文は... (Vertical calligraphy on the left page, starting with '左の文は...')

紅毛の如く京師の田圃は亦一不  
所を致さず昔より博と為活  
場所は之を成す命を争はる所

河内府教諭

今村守

長上

田舎

永井

長上

新

信

神

善

信

信

信

信

信

信

信



之保平子山政宗

甲利信成

年王新丁打

山跡并

百好

孫

本平

孫

相

古

中

地

人

田

水

山

子

子

子

早為所悟了  
乃尔尔尔可也

二信子那

年坎可下

馬

如年信

福

永信可

根人山

音人

千芳

心

四月

松平

后

何部

目

尚書右丞

以自序

三六

由者之類

御田中履与

卷一

十一

中身... 御田中履与... 尚書右丞... 以自序... 三六... 由者之類... 尚書右丞... 以自序... 三六... 由者之類...

公儀... 尚書右丞... 以自序... 三六... 由者之類... 尚書右丞... 以自序... 三六... 由者之類...

織田... 御田中履与... 尚書右丞... 以自序... 三六... 由者之類...

御田の御意をそのありしをいふに  
はゆき懸れはのちを方より作せんと  
後世にてもおれはたすかたのちの  
武ふるふりてはてしなく御田の御  
下りゆき

御田對らむ

御田の御意をそのありしをいふに  
はゆき懸れはのちを方より作せんと  
後世にてもおれはたすかたのちの  
武ふるふりてはてしなく御田の御  
下りゆき

御田の御意をそのありしをいふに  
はゆき懸れはのちを方より作せんと  
後世にてもおれはたすかたのちの  
武ふるふりてはてしなく御田の御  
下りゆき

日蓮上人の御遺教

と云ふは、此の御遺教の御遺教の御遺教

も、この御遺教の御遺教の御遺教

御遺教の御遺教の御遺教の御遺教

御遺教の御遺教の御遺教の御遺教

日蓮

御遺教の御遺教の御遺教の御遺教

御遺教の御遺教の御遺教の御遺教

御遺教の御遺教の御遺教の御遺教

日蓮

御遺教

御遺教

御遺教の御遺教の御遺教の御遺教

御遺教の御遺教の御遺教の御遺教

御遺教の御遺教の御遺教の御遺教

御遺教の御遺教の御遺教の御遺教

日蓮

鐵田武新

石室之石  
如石之石  
如石之石  
如石之石  
如石之石  
如石之石  
如石之石  
如石之石  
如石之石  
如石之石

